と～かんニュース

125号

令和３年４月20日　発行

★アンケート調査で見えた町内会とは★

～地域活動では“負のスパイラル”の問題点を指摘～

町内会・自治会の現状について

広島市は、昨年末に町内会・自治会についてアンケート調査を実施しました。その結果報告が3／27（土）にオンラインシンポで行われました。

冒頭、松井広島市長のあいさつでも強い危機感が出ていました。続いて中谷満美子（コミュニティ再生課長）から、具体的な調査結果を示しながら説明がありました。

以下、その要旨をお伝えします。

① 加入率が低下している

S57年（1982）86%、H12年（2000）75%

H32年（2010）66%、R2年（2020）56%

② 考えられる要因

・少子、高齢化による人口減少

・家族単位の縮小、・単身世帯の増加

・労働環境の変化（定年の延長等）

・生活環境の変化（冠婚葬祭、孤立化）等

③ その影響は

・役員のなり手不足（担い手不足）

・役員の負担が増加

・活動のマンネリ化

・活動の停滞　等

社会システムの変化

アンケート調査では「ライフスタイルの変化（生活環境の変化）」があげられている。

職場と住居が分離され、多くの就業者にとって住宅は「自宅は寝るために帰る場所」になっている。

またコミュニケーションも、新しいSNSの出現で「近所付き合いを避ける」傾向が出ている。加えて「プライバシー意識の高まり」で、近所付き合いを敬遠する傾向もある。

その要因として考えられるのは、行政や民間企業等のサービスの向上で「これまで地域が担っていた互助的な役割を肩代わりしている」ということが考えられる。

★役員の担い手不足★

今回の調査でクローズアップされた課題は「役員のなり手不足」だった。

・役員の負担が大きいと思われている

・「地域のため」と思う人が減っている

・町内会活動は必要とないと思われている

・地域の人と交わる機会がなかった

★これからのまちづくりを考える★

～広島市・町内会、自治会のアンケート調査の続き～

町内会の役割について

町内会の組織率は「戸建て住宅の多い地域は高く、マンションや集合住宅の混在する地域は低い」と報告されている。

また加入率の高い地域住民の75%以上が「町内会はとても大切である」という、調査結果が出ている。

★町内会活動について★

① これまでの地域活動について
- ・お祭りや親睦活動がある
- ・知り合いができるので楽しい
- ・地域の環境、美化活動
- ・ゴミ出し、リサイクル活動
- ・スポーツやリクリエーション
- ・情報伝達の活動（回覧版、掲示板）
- ・防犯、防災の活動
- ・街灯、危険個所等の点検

② これからの活動について
- ・子どもが楽しく参加できる活動
- ・住民の関心を引く活動
- ・情報発信力の充実
- ・防災活動（避難等）の訓練

③ 住民の活動への参加
- ・町内会の役割が周知されていない
- ・活動に変化がない
- ・参加したい活動がない
- ・知り合いがいない

④ もし町内会がなくなったら
- ・地域のお祭りがなくなると寂しい
- ・災害時につながりがないと心配
- ・工事や騒音等の問題が個人対応になる
- ・情報が入らなくなる

★と～かんカフェが面白い★

【相談コーナーが充実しました】

と～かんカフェは、第一集会所駐車場で年間9回開催しています。

街角オープンカフェとして、“コーヒー＋クッキー”を飲みながら、毎回100人近い人たちの出会いと語らいの場になっています。

人気の秘密はいろいろあります。

① 相談コーナー
- ・住宅のなんでも相談
- ・不動産のなんでも相談
- ・介護の相談（休み）
- ・リサイクルの相談
- ・家財整理の相談

② ミニショップ
- ・手づくりクッキー
- ・朝どり野菜（減農薬栽培）
- ・婦人衣料、小物

③ リサイクル、ネット販売

④ いきいきポイント
高齢者の“いきいきポイント”

次のと～かんカフェは

5/2 （日） 10:00～です

第一集会所・駐車場

★企画・編集：と～かんサポートクラブ
広報部会
★発行年月日：令和３年４月２０日
★発　行　者：高田　稔（☎922-5844）
★文　責　　：中倉　勇（☎922-4320）
★ホームページ：こむねっとひろしま